

DBN粒剤 カソロン粒剤2.5	取扱メーカー： 北興、カネショウ、一農 原体メーカー： アリスタ LS
成分： DBN〔PRTR・1種〕……………2.5%	性状： 淡褐色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 非ホルモン型、吸収移行性の土壌処理剤で、雑草の発生初期処理で非選択的に作用し、一年生のイネ科及び広葉雑草を枯殺する。
- 生育した雑草に対する作用は広葉雑草に強く、特に防除困難なヤブガラシ、ギンギシ、ヨモギなどの多年生（宿根性）広葉雑草に使用できる。
- 効果の発現は遅い。
- 蒸気圧が高いのでガス体で土壤中を移動する。
- 土壌中の効力持続期間は約1カ月。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- いぐさでは10a当り3～6kgを湛水のまま散粒機又は手まきで均一に散布する。
- 雑草の発生初期から盛期（1葉期）に散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 雑草の発生始めに使用する。
- イネ科雑草が優占する場所での使用はさける。
- 土壌が乾燥していると効果が落ちるので、雨上がりの土壌水分の多い時に使用する。
- 全面散布の場合には、散布ムラを生じないように、全面に均一に散布する。
- 多年生広葉雑草に対しては所定量を雑草の株元及びその周辺に散布する。
- 風通しの悪い凹地、施設栽培など、空氣の滞留しやすい場所では使用しない（下枝の葉や果実への薬害）。
- いぐさ・しちとういに使用する場合は、次の注意事項を守る。
 - 対象水田の土壌は埴土～壤土とし、1日当りの減水深が ≥ 0.5 cm以下の漏水の少ない腐植含量

の多い水田で使用する。

○湛水状態で散布し、散布後3～4日間そのまま湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しをしない。

○既発生の雑草には効果が劣るので、所定範囲内の多めの量を使用するか、概ね1カ月以上の間隔を開けて2回散布する。

●水稲（刈取跡）に使用する場合は、次の注意事項を守る。

○散布後の圃場は翌春まで耕起しない（効果）。
 ○翌春、水稲以外の作物を栽培する場合は使用しない。

●公園、堤とう等で使用する場合は、以下の事に注意（飛散、流出による周辺作物への薬害）。

○激しい降雨の予想される場合は使用をさける。
 ○飛散・流出により有用植物に薬害を生じないように十分に注意する。
 ○水源池等に飛散、流入しないように十分に注意する。

●適用作物（いぐさ・しちとうい及び適用作物全般）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●適用外作物（かぼちゃ、うり類、きく、ホップ及びその他の周辺作物）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 魚類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- 共通注意事項6．街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。



【適用と使用法】

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	DBNを含む農 業の総使用回数
い ぐ さ	—	スズメノテッポウ ミズハコベ 水田一年生雑草 マツバイ	1～4月 (雑草発生 始期)	3～6 kg	2回 以内	湛水散布	2回以内
しちとうい		水田一年生雑草 マツバイ ミズハコベ	移植後 7～10日	3～4 kg			
日 本 芝		一年生雑草 多年生広葉雑草	秋期雑草 発生前～ 発生始期	8～10 kg (1 m ² 当り 8～10 g)		全面土壌 散布	3回以内
水 稲 (刈取跡)	水稻刈取跡	マツバイ	水稻刈取 後7～10 日まで	5～6 kg	1回		1回
樹 木 等	公園,庭園, 堤とう, 駐 車場, 道路, 運動場, 宅 地, のり面 等	一年生雑草	雑草の 発生前～ 発生始期	17～20 kg (1 m ² 当り 17～20 g)	3回 以内	植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に全面 土壌散布	3回以内
		多年生広葉雑草 スギナ		20～40 kg (1 m ² 当り 20～40 g)			